

何気なく手に取った本が、笑顔を生んだり、コミュニケーションを育んだりする。

この秋、図書館へ行こう。



▼毎週届く、新着図書。

新着図書は図書館入口正面に展示。市ホームページからも確認できます。



▲出会は展示コーナーに？

つい同じジャンルの本を手にとってしまう。たまにはいつもと違う本を読んでみたい。そんな時は展示コーナーを覗いてください。様々なテーマで本を展示しています。

暦

のうえではもうすぐ冬。日没が早くなり、家で過ごす時間が多くなる人もいるのではないのでしょうか。そんなおうち時間には、読書を楽しんでみませんか。お気に入りの本を読み込んだり、家族と語りながら読んだり、読書には様々な楽しみ方があります。読みたい本を探しに、ぜひ図書館へおいでください。

問い合わせ〓図書館（☎474341）、新里図書館（☎748080）

充実の蔵書とコーナー

桐生図書館には約20万冊、新里図書館には約7万冊の蔵書があります。館内は様々なコーナーに分かれていて、本を探しやすくなっています。

予約や取り寄せが可能

探している本が貸出中の場合は、直接または市ホームページから予約することができます。借りたい本が市内の図書館にない場合は、県内の公立図書館や大学図書館が本を所蔵していれば、取り寄せて利用することもできます。

ご相談はカウンターへ

図書館には本の専門家である「司書」がいます。研究や学習のための本探しはもちろん

新型コロナウイルス感染症対策

皆さんに安心してご利用いただけるよう、図書館では次のような対策をしています。

▼室内の換気と定期的な清掃

▼資料の消毒

▼新聞・雑誌コーナーなどに
定員制・時間入替制を導入
対象〓新聞・雑誌コーナー、
読書室、参考資料室、新里図書館学習室

利用時間〓①午前9時～11時
②午前11時30分～午後1時30分
③午後2時～4時
④午後4時30分～6時（日曜日は③まで）

▼イベントの休止・人数削減
おはなし会は、休止中です。
プラネタリウムは、参加人数を20人に削減して開催しています（桐生図書館のみ）。

開催日〓毎月第2・第4土・日曜日

図書館からのお願い

図書館への入館には図書利用券が必要です。必ずお持ちください（運転免許証などの住所が分かる書類があれば、当日、利用券を発行できます）。

入館時は、マスクの着用と手指の消毒をお願いします。

また、本の持ち帰り用にマイバッグを用意してください。



▲子ども向けコーナー（新里図書館）

図書館は大人だけの場所ではありません。赤ちゃんや子ども向けの本、児童書なども充実しています。とくに絵本は、お父さんやお母さんが小さい頃に読んでもらった本もあるかもしれません。懐かしい絵本を探しに、親子で図書館へ来てみませんか。



▶YA(ヤングアダルト)コーナー

YAとは、「子供と大人の間の世代」、年齢でいうと13歳から18歳くらいまでを指します。心の揺れ動きが激しくなる一方、未来をひらく力となる「知」を蓄えるのに適した時期でもあります。多くの書物に触れ、豊かな心を持つ大人へ成長してほしいという気持ちを込め、専門コーナーを設けています。



◀電子情報サービス

新聞や法律情報などを、次のデータベースを利用して検索できます（桐生図書館のみ）。

- ①上毛新聞WEBデータベース
- ②法情報総合データベース
- ③官報情報検索サービス

▲大活字本コーナー

大活字本とは、低視力や高齢の人にも読みやすいように、文字の大きさや行間などを調整し、大きな活字で組み直した本です。桐生図書館には約300冊、新里図書館には約50冊、所蔵しています。



団体貸出もできます

市内の高齢者福祉施設や放課後児童クラブなどを対象に、団体貸出を行っています。

貸出冊数は50冊まで、期間は30日以内です。司書が選んだ図書を貸し出すので、本を選ぶ時間や手間が省けます。紙芝居や大型絵本などもありますので、施設を運営する人のご利用をお待ちしています。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版などの理由で入手困難な資料を、館内のインターネットで閲覧できます。このサービスを利用するには図書利用券が必要です（桐生図書館のみ）。

専門書は参考資料室で

桐生図書館2階の参考資料室には、各分野の専門書や郷土に関する資料などがあり、貸出禁止の本や過去の新聞などが閲覧できます。上毛新聞は昭和10年、桐生タイムスは昭和22年から所蔵しています。

ん、暮らしの中での疑問や確認したい事柄、仕事に役立つ情報の探し方などについて、図書館の豊富な資料を駆使して、ご相談に応じています。

市民の皆様が熱い思いが伝わり、新桐生駅のエレベーター設置が実現する運びとなりました。市としても要望活動を行ってきたところ、今回、実施主体の東武鉄道が国の事業採択を受けました。市も市議会に関連予算の議決をいただきました。工事完成後は、さらに便利になる新桐生駅をより多くの人にご利用いただき、本市の一層の発展につながることを期待します。

また9月14日にミス・インターナショナル日本代表の寺内千穂さんが来桐し、市内各所において市内29社が生産したマスクを着け、PR動画を撮影されました。ジェトロの事業を活用して招致に至りましたが、ミス・インターナショナルが持つ高い発信力を活かして世界中に魅力を伝えていただきます。引き続き、桐生のマスクのブランド化に向けて全力で取り組んでまいります。

桐生市長 荒木 恵司

こんにちは
市長です

市の発展に向け、様々なことが動き出しました

